

【第一次案内】

第16回 日本音楽療法学会 関東支部 地方大会 東京

東京大会へのお誘い 大会長 二俣 泉

音楽療法が、広く社会にあるニーズに応え、また個々の対象者の役に立つためには、音楽療法の啓発（ひろめる）、研究や介入技法の発展・洗練（ふかめる）が必要です。

また、音楽療法実践を長く継続するには、経済的な裏付けも欠かせませんし、「音楽療法の価値」を多くの人に認めてもらうことも大切です。そこで、今回の大会テーマは、

「ひろめる、ふかめる、そしてつづける」としました。

音楽療法が社会に根付いていくために、そして音楽療法士自身も成長し充実した生活を送るために、何に取り組んでいくべきなのかを共に考える機会にしたいと思います。どうぞふるってご参加下さい。

大会プログラム（予定）

- 10:00～ 開会式、全体シンポジウム
- 13:00～ 総会
- 13:40～ 研究発表、その他の企画
- 16:40～ 閉会式、交流会

2018年2月25日（日）

東邦音楽大学
川越キャンパス

埼玉県川越市今泉84

JR埼京線・川越線「南古谷」駅下車徒歩10分

研究発表について

発表形式は、口演発表かポスター発表のいずれかになります。

発表領域は 1. 児童、2. 成人、3. 高齢者、4. 精神科、5. 緩和ケア、6. その他 の6項目です。多くのご応募をお待ちしております。

申し込み期間（予定）

9月11日（月）～10月31日（火）

詳細は、関東支部ホームページおよび後日発送の第2次案内をご覧ください。

<http://www.jmta-kanto.jp>

大会テーマ ひろめる、
ふかめる、
そしてつづける

写真：ウィーン郊外ハイリゲンシュタットのペートーヴェンが住んでいた家の中庭の樹木